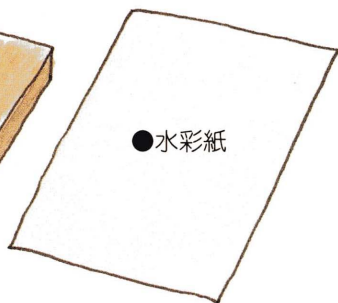
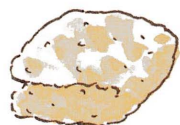


パネル張り(水張り)すると、紙が波打たない

用意するもの

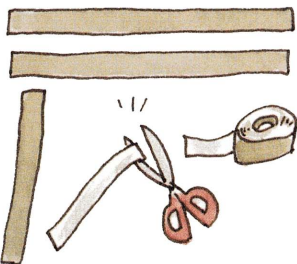


●ハケ



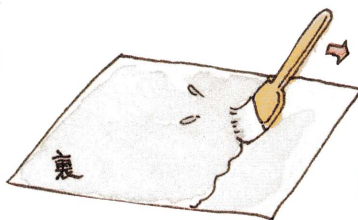
●きれいな
タオル

①水張りテープを切る



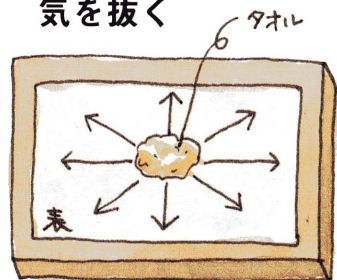
紙の長さに合わせて、水張りテープを切っておく

②紙に水を含ませる



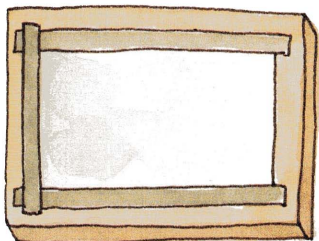
ハケやスポンジを使い、たっぷり水を含ませる

③パネルにのせて空気を抜く



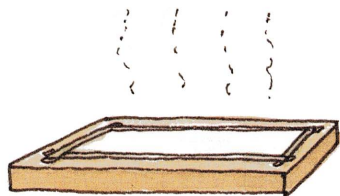
タオルで中心から4方へ空気を軽く押し出すように

④水張りテープで紙とパネルをとめる

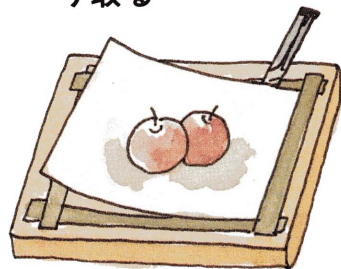


テープの裏面に水をつけると、切手のように糊が溶けて貼りつけられる。紙は水を含んで、表面は波打っている

⑤水平にして乾燥させる



⑥制作後、作品を切り取る



紙は制作の途中で、水分を含んで波打っても、しばらくすると、ピンと張った状態になる。作品を切り取りテープを取れば、パネルはまた使える